

心の窓



校訓：かしこく やさしく あかるく つよく

令和3年12月17日(金)

南関町立南関第四小学校 学校だより

No.33

文責：松永 尚子

あいさつ運動実施中！

12月10日(金)の朝、いつものように、児童玄関の前で子どもたちが登校してくるのを待っていると、登校班長として登校してきた6年生が、ランドセルを片づけて、また、児童玄関のところにだんだん集まってきました。そして、「おはようございます！」とあいさつ運動を始められました。

6年生のみんなは、「四小のために自分たちにできることはないか」と話し合っ、て、「あいさつ運動をする」ことになったそうです。



1～5年生のみんなは、最初は、びっくりしていましたが、だんだんあいさつ上手になってきています。なかには、まだ、照れている人もいますが、みんなが「あいさつ名人」になってほしいと思います。なんとと言っても、あいさつは、コミュニケーションの基本です。子どもたちは、ご家庭で、「おはよう」「行ってきます」「おやすみなさい」などのあいさつはできていますでしょうか。この機会にご家庭でもあいさつ運動に取り組んでみませんか。

第2回PTA再生資源回収へのご協力ありがとうございました。

12日(日)に、PTA再生資源回収を行いました。今回も、たくさんの保護者の方、地域の方のご協力で、たくさんの資源が回収できました。寒い早朝から、ご協力ありがとうございました。また、回収作業が少し落ち着いた時間帯には、保護者の方々が、「トイレ掃除をします」と言って何名かの子どもたちと一緒にトイレ掃除をしていただきました。日頃、掃除が行き届いていないところも磨いていただき、たいへん助かりました。今回の収益金の一部は、あと3か月半で卒業します6年生の卒業アルバムの補助にも当てられます。そこで、最後に、6年生からのお礼の言葉もありました。

四小は、保護者、地域に支えられた温かい学校だなど改めて実感しました。いつもありがとうございます。



四小の校内人権集会を行いました。

15日(水)に、校内人権集会を行いました。まず、私から、「四小は好きですか。私は、大好きです。だから、毎日、うれしいことがたくさんあります。例えば、6年生が挨拶運動をしてくれたり、落ち葉掃きを自分から手伝ってくれたり、四小集会で1・2年生が一生懸命練習して発表したり、持久走大会でみんなが一生懸命走ったり…自分や相手を大切にしてくれる四小が大好きです。でも、心が悲しくて、苦しくて、許せないときがあります。例えば、自分が言われたら嫌な言葉を投げかけたり、されたら嫌なことをしたり、授業中に集中していなかったりということがあります。自分も相手も大切にしたい本当の仲間になってほしいです。今日は、みんなで本当の気持ちを自分の言葉で発表し、伝え合っ、て、みんなが変わるきっかけにしてほしいと思います。」と話しました。その後、各学年からの発表がありました。これまで、人権学習で学んできたことをもとに、みんなに伝えたいこと、言わなくてはいけないこと、これから大切にしたいことなど、各学年の代表者や学級全体で発表しました。どの学年の発表にも、次から次に返しの言葉がありました。この返しの発表の様子に、学習会での学びが生きていると感じました。学級に戻ってからも、たくさんの返しを書いていました。

子どもたちは、友だちの言うことをそれぞれに受け止め、自分のこと、クラスのことを振り返っていました。企画委員さんからの返しの言葉に「学習会で学んだこと、人権学習で学んだことを生かし、本当の自分を出せる環境をつくりたい」という言葉がありました。

私たち教職員も、子どもたち主体で進めるこの人権集会からたくさんことを学びました。子どもたちが、人権学習を通して学んだことで、自分が「変わりたい」「成長したい」「ここを頑張っていきたい」と思ったことを大切にして、もっともっと伸びていける四小にしたいと思っています。

